

先生のコメント

アリシア・キャロル



アリシア・キャロル先生は、イーストボストン幼児教育スクールで科学 (Science)、テクノロジー (Technology)、エンジニアリング (Engineering)、芸術 (Arts)、数学 (Mathematics) を融合させた STEAM 教科の主任を務めています。保育園と幼稚園を一緒にした教室に集まる子どもたちは、学習進度も様々です。中には第二言語として英語を学ばなければならない子や、障害をもった子どもたちもいます。アリシア先生は科学とエンジニアリングを学ぶプログラムを作り、くるくるゆうえんちセットを使ってそれぞれの子どもたちの学習進度に合ったレッスンをしています。

指導要領に沿った構成

学校がある地区と全米共通の指導要領を満たすため、アリシア先生は STEAM プログラムでデザインエンジニアリングのプロセスとエンジニアリング的思考習慣、そして次世代科学基準 (NGSS) を採用しています。幼児期の早い段階からエンジニアリングの概念を導入し、子どもたちを STEAM 分野のキャリアに向けて備えることはとても重要だと考えています。

すべての子どもたちを夢中にさせる

保育園や幼稚園の子どもたちがスロープや乗り物を作って遊んでいる様子を見ていたアリシア先生は、子どもたちが手先の動きを練習していることや、問題解決や協力する姿勢、コミュニケーションといった21世紀型スキルを身につけていることにすぐに気がつきました。「子どもたちはすっかり夢中になって興奮していました。グループで問題解決アクティビティをさせると、45分間休みなしで楽しく続けることができ、やめたくないと言うほどでした!」と、アリシア先生は言います。先生が作った科学・エンジニアリングのカリキュラムはオープンエンドの問題解決アクティビティとレゴ。エデュケーションデュプロ。くるくるゆうえんちセットを組み合わせ、学習進度の異なる子どもたちが全員参加できるような構成になっています。

先生方のサポート

アリシア先生は、子どもたち全員が強く、共感力とスキルがあり、そして何よりも学習に積極的な、「ベスト」になれるようサポートすることができるクラス環境を整えています。先生がくるくるゆうえんちを使って感じた一番のメリットは、教えなければならない学習内容をしっかりと押さえつつ、子どもたち全員が自分に合った学習をすることができる点です。

目からうろこの瞬間

子どもたちが新しい物について調べ、組み立て、作り直し、協力しているうち、アリシア先生は全員が積極的に参加しているだけでなく、自分が慣れていない新しいことにも挑戦していることに気づきます。「くるくるゆうえんちセットは子どもたちの関心を高め、学習を楽しくしてくれます!子どもたちは指導要領の内容に自分のアイデアを付け足して、学習をさらに発展させています。科学の概念が登場する度に、もっと続けたいと言うのです。」このおかげで、アリシア先生は障害のある子も含め、発達段階の異なる子どもたち全員に対してやりがいのある課題を出すことができている。子どもたちは知識を増やし学んだことをお友だちに披露しながら、全員が新しいものを生み出し遊ぶことができます。



LEGOeducation.jp

LEGO, the LEGO logo and DUPLO are trademarks of the LEGO Group.
©2017 The LEGO Group. All rights reserved.